



おいしいもの 食べにいく？

特集

いつものごはんとは違う「何かおいしいもの、食べたい！」を叶えてくれる、料理上手のあの人や、あのお店のごはん。



うさぎや

栃木県や埼玉県、宮城県と幅広い地域で展開している書店ですが、このカバーは創業した土地である栃木県限定のもの。2015年に宇都宮駅東口店をリニューアルオープンした際に社内でデザインしたものだそう。「本を持ち歩いていいなと思ってもらいたい」という気持ちから、社名を大きく出さず、本棚を単色で描いたシンプルさが魅力です。

うさぎや/栃木県宇都宮市元今泉7-3-13 (本社) ☎028-612-8855(本社) ●店舗により異なる ●なし <http://www.usagiya-web.com/>



恵文社 一乗寺店

スタッフが面白いと思う書籍だけを扱うという信念が伝わってくる品ぞろえで、本好きから信頼を得ている書店。カバーはイラストレーターの山本祐布子さんによるもので、「シックな感じで、抽象的、でも何か思索を誘うような」という要望をかたちにしたもの。ひろせべにさんデザインのおもしろも人気で、本とともに、お土産にする人もいます。

けいぶんしゃ いちじょうじてん/京都府京都市左京区一乗寺弘殿町10 ☎075-711-5919 ●10:00~21:00 ●なし(元日を除く) <http://www.keibunsha-store.com/>

恵文社 一乗寺店

茨木のり子の
献立帖



「詩はもちろんのこと、邸宅のインテリアやファッション、生活などのあらゆる面において、その凛とした魅力にあふれる詩人・茨木のり子。彼女が遺した日記やスクラップブックから、レシピを書き出し、茨木家の食卓を再現した一冊です」(書店部門マネージャー 鎌田裕樹さん)
茨木のり子著 平凡社 1,728円

うさぎや

すべての
雑貨



「東京・西荻窪にある雑貨店の店主による本。世の中には雑貨というモノがあふれています。そんな雑貨を静かに熟く語る本書は読者の視界を開いてくれる内容。内から外へ、具体から抽象へ、行きつ戻りつしながら、雑貨の世界が語られています」(本誌 高田直樹さん)
三品輝起著 夏葉社 2,160円

福村書店

世界一
伸びる
ストレッチ



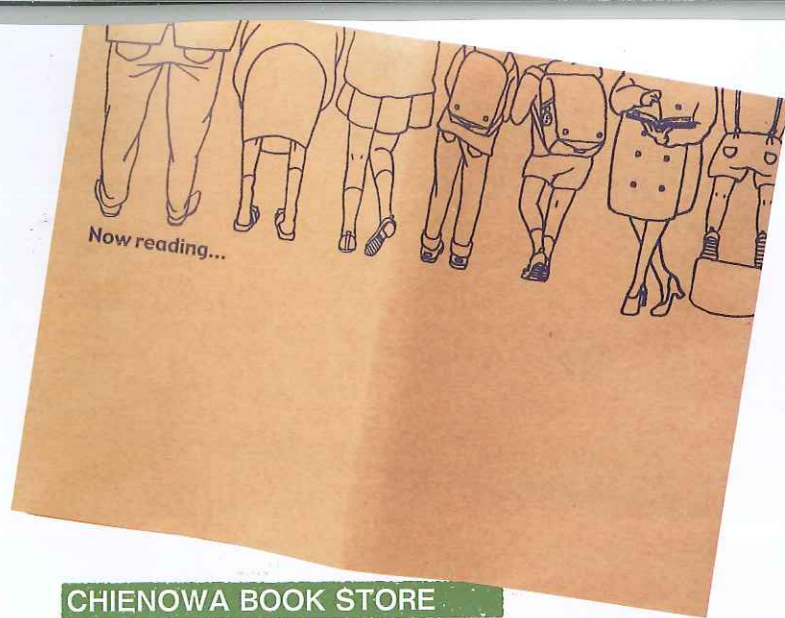
「有名アスリートたちのフィジカルトレーナーを務めた著者による、ストレッチ法を紹介した一冊。寝ながら、椅子に座ったまま、立ったままなど、シーン別にポーズを解説。ストレッチ本はたくさん出ていますが、この本が一番わかりやすいと思います」(店長 下斗米一訓さん)
中野ジェームズ修一著 サンマーク出版 1,404円

CHIENOWA BOOK STORE

月と
六ペンス



「1919年に出版されたベストセラーで、画家のポール・ゴーギャンがモチーフになった小説。癖があるけれど魅力的な登場人物と、読後の深い余韻が魅力。100年前に書かれたとは思えない小説の面白さがあり、現代でも気軽に楽しめる名作文学です」(店長 塩澤広一さん)
サマセット・モーム著 金原瑞人訳 新潮社 680円



CHIENOWA BOOK STORE

1947年にリヤカーでの本の販売から始まった書店。地域に根ざした店づくりをしながら、2013年から、「美大生やアマチュアのイラストレーターの作品発表の場になれば」という想いでカバーのデザインを公募。お客さんの投票で決まった大賞作品をカバーにしています。上は2016年、右は2015年の作品。今年の大賞は7月下旬からお目見えです。



チエノワブックストア/埼玉県朝霞市本町2-13-1 EQUIA朝霞2F ☎048-450-6760 ●7:00~22:00、土・日曜・祝日8:00~ ●なし(元日を除く) <http://www.chienowa-bs.com/>

福村書店

味わい深い柄は、なんと、芋版画によるもの。地元の北海道・北見市で活躍していた芋版画家であり、前社長の兄でもある香川軍男の作品。活版印刷を発明したとされるヨハネス・グーテンベルクの肖像をデザインしています。店は1947年創業の老舗で、2011年に閉店したものの、住民の強い要望から3年後に復活し、いまでも変わらず愛されています。

ふくむらしょてん/北海道北見市北3条西2丁目16 ☎0157-33-3123 ●9:00~19:00 ●なし